

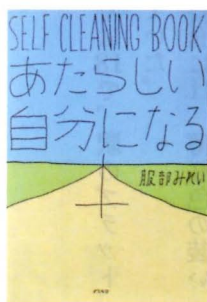
大井実の
BOOKな話

福岡市内で書店『ブックスキューブリック』をいとなむ大井実さんの、本のある日常をつれづれに。
撮影／川上信也

町の本屋として、いい作品を届ける。
そういう思いを新たに、4月です。



『SELF CLEANNING BOOK あたらしい自分になる』
服部みれい／アスペクト／
1,365円



『2001 年宇宙の旅』
'68年アメリカ／141分/
DVD1,500円ブルーレイ
2,500円(税込) 発売中/
ワーナー・ホーム・ビデオ



新1年生、新社会人：4月はいいですね。でも、50歳をすぎたおじさんにとっても（僕のことです）、毎年4月には特別な思いがあつて、よし！とちいさく襟を正したりします。というのも、僕が福岡に本屋を出したのが4月なんです。大学を出ておもむくままに東京や大阪で働き、本屋をやろうと福岡に戻って2年ほどの準備期間をもうけ、ようやくオープンしたのが2001年4月22日。

本はいつも僕を中心でした。高校生で小難しいロシア文学を熟読し、出版社のフェアがあれば片っぱしから貪り読む。映画にも音楽にもめり込みましたね。

考えてみればこれまで本にはどれだけ助けられたことか。僕という人間の多くは本でできてると思えます。大げさでなく、本や映画や音楽の中には、時代を超えて変わらないもの、普遍的なものがたくさんあります。夏目漱石だって太宰治だって、いい本はいつ読んでも素晴らしい。だから：僕はいろんな意味での、いい本を集めて地域に発信したかったし、地域とつながりたいとずっと思っています。

ところで、店名の『キューブリック』について。もうおわかりですね。『2001年宇宙の旅』のスタンリー・キューブリックにちなんだネーミングです。新しい世界を踏み出した2001年は、僕の心の旅立ちの時。でもそれだけではありません。彼の映画は抽象的で難しい印象がありますが、たとえば映像と音楽のマッチングが素晴らしくて、それだけでも魅力的。で、そういう難解な作品にもかかわらず、彼の映画は興行的にすべて成功しているんです。同じように僕も自分のこだわりとビジネスを両立させて店を成功させたい。そんな願いもこめています。

最後になりました。今月おすすめる本は、服部みれいさんの『あたらしい自分になる』です。この本は心身の健康ノウハウ本ですが、冷えとりとかアーユルヴェーダとか、紹介されている内容の多くは今のエコライフの元祖で、60年代のアメリカの若者の間で生まれたもの。すぐく役に立つし、心のよりどころにもなります。新たなスタートの時期、新しい自分を磨くのも素敵なことです。